

446キログラムマグロ揚がる

勝浦市場で過去最大

生鮮マグロの水揚げ量が国内有数の那智勝浦町の勝浦市場に5日早朝、重さ446キログラム、全長2・82メートルと市場の記録上で過去最大のクロマグロが水揚げされた。写真。地元仲卸業者が1キログラムあたり6150円、1本274万2900円で競り落とした。



1949(昭和24)年に開設された同市場。これまでの最大は昨年1月24日に揚がった417キログラムだった。マグロは大き過ぎて用意していた箱に入らず、板に乗せてフォークリフトで運び、トラックに積み込んだ。水揚げしたのは宮崎県の「第二十二勝徳丸」(19ト、乗組員7人)。勝浦港沖南南西約320キロの海域で2日午後4時30分ごろ釣り上げた。児玉禎文船長(50)は「手応えはすごかった。揚げた時は乗組員みんなで万歳しました。去年の417キログラムのマグロを揚げたのが同級生だったので、勝ててうれしい」と喜んでいました。

和歌山県漁業協同組合連合会勝浦市場の丸山一郎参事(60)は「市場を開設してから400キログラムが揚がったのはこれで4本目。本格的なマグロシーズンに入り幸先がいいです」。

競り落としたヤマサ脇口水産(同町築地)の脇口光太郎社長(49)は「ありがたいです。那智勝浦町はマグロのまち。地元の人にも食べてもらいたいと思います」と話していた。(瀧谷 亘)

